

江東きっずクラブ

**平成29年度から
全小学校で実施**



▲遊びや学習などを通じ、さまざまな学年の子どもたちが交流

安全・安心に過ごせる放課後へ

区では平成22年度から、共働き家庭等が小学校入学時に直面する「小1の壁」を打破するとともに、放課後等にこどもたちが安全で安心して過ごすことのできるよう、「江東きっずクラブ」を小学校内に開設しています。当初、10年かけて全校に展開する計画でしたが、2年早く、平成29年度に完了する予定です。

平成29年度から新たに6校に開設し、全校での実施へ

平成29年度に開設する6校は、現在「げんきっず」実施校です。平成29年度から「江東きっずクラブ」に移行し、A登録・B登録を実施します。

新規開設校についての詳細は、

平成29年度 新規開設校

学校名	所在地
八名川小学校	新大橋3-1-15
扇橋小学校	石島18-5
毛利小学校(※)	毛利2-2-2
水神小学校	亀戸5-22-22
第五大島小学校(☆)	大島8-40-13
大島南央小学校(★)	大島4-18-5

※毛利学童クラブは江東きっずクラブ毛利B登録へ移行
☆改築移転中のため、平成30年7月まで大島仮校舎(大島5-52-15)で運営
★江東きっずクラブ南央の開設により、大島四丁目学童クラブを休止

10月下旬から各小学校で実施する予定の保護者説明会等でご案内します。

江東きっずクラブ
A登録・B登録とは

A登録は、放課後等の教室などを利用し、安全・安心な自主的な遊びの場・学びの場を提供します。最大午後6時までの利用が可能です(午後5時以降利用希望の場合は就労要件あり)。

B登録は、保護者の就労等により、ご家庭において十分な保護を受けられないお子さんを、保護者に代わって生活の場を提供し、健全育成を図っていくことを目的とした、学童クラブ機能となります。専用スペースを設けており、最大午後7時までの利用が可能です。またB登録のみ、おやつ提供があります。

なお、対象児童については、

江東区地域包括ケア全体会議を開催



高齢者が住み慣れた地域で暮らせる体制づくりを目指し、専門職が一致団結

▲さまざまな職種の専門家が一堂に

区では、団塊の世代が75歳以上となる2025年までに、認知症や要介護状態となっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。

8月1日、区内の医療・介護・福祉の専門職と地域活動団体の45人が一堂に会し、ケアシステムの理念や多職種連携の必要性を確認しました。また、職能の違う専門職がチームで区民を支える体制づくりを進めていくという意見で一致しました。

中でも江東区医師会は、本会議の発起団体であり、当日も数多くの医師が参加し、中心的な役割を果たしています。

今後は、区民の方にシステムを分かりやすく伝えるリーフレットの作成に取り組むとともに、在宅医療や認知症などの分野で多職種連携を深めていきます。

問 地域ケア推進課包括推進係
☎(3647)9308
FAX(3647)9274

昨年度まで在籍校児童のみを対象としていましたが、平成28年度から、江東区立小学校以外の私立・国立小学校等に在籍する区内在住児童についても、住所地が学区に当たる当該校の江東きっずクラブ、げんきっずで受け入れを行っています。

平成29年度児童の募集

【A登録】

平成29年3月上旬募集開始予定

【B登録】

学童クラブの募集と同時期(12月上旬)を予定

【土曜江東きっずクラブ】

平成29年3月上旬募集開始予定、区内児童館(一部児童館を除く)で実施・受付

問 放課後支援課支援係

☎(3647)9308
FAX(3647)9274